

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果

□1 調査の目的

本調査は、文部科学省が学校の設置管理者等の協力を得て実施するものであり、次のことを目的としている。

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

□2 調査の対象学年

国・公・私立学校の小学校第6学年児童、中学校第3学年生徒

□3 調査の内容

(1) 教科に関する調査 【小学校：国語、算数、理科 中学校：国語、数学、理科】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し以下の通りとする。なお、理科は3年に1回の実施である。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 児童生徒に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査
- 学校に対する調査
学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

□4 調査の方式

悉皆調査

□5 調査期日

令和4年 4月19日（火）

□6 調査を実施した児童生徒数

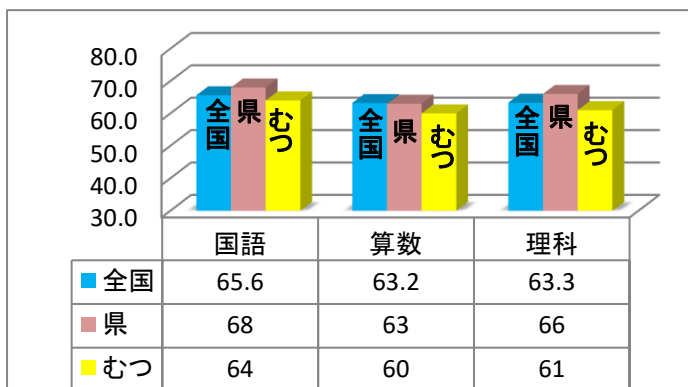
	児童数	生徒数
全国（公立）	965,761人(98.7%)	892,585人(96.1%)
全国（国立）	6,097人(0.6%)	9,640人(1.0%)
全国（私立）	6,253人(0.7%)	26,284人(2.9%)
青森県（公立）	8,314人	8,393人
むつ市	425人	369人

※（ ）内の数値は、公表された数値をもとに独自に算出した割合です。

□7 学力調査の結果

※報道等による順位競争の過熱化を防ぐため、平成29年度から、都道府県・市町村の数値は整数値での発表となっている。

■①令和4年度 小学校6年生



国語、算数、理科

全国平均、県平均を下回る。

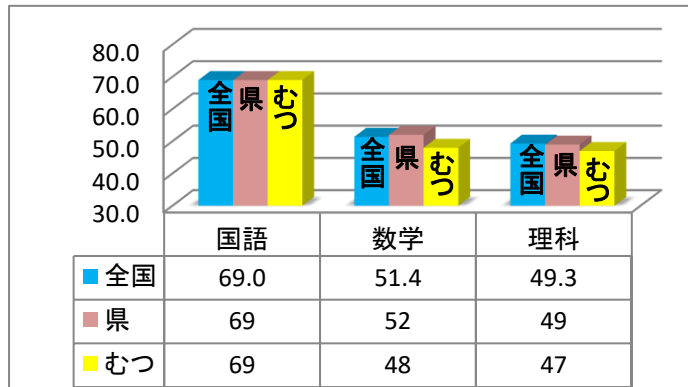
☆令和3年度結果

	国語	算数
全国	64.7	70.2
青森県	69	71
むつ市	69	71

* 全国平均に対する到達率

	国語	算数	理科
全国	100	100	100
県	103.7	99.7	104.3
むつ	97.6	94.9	96.4

■②令和4年度 中学校3年生



国語

全国平均・県平均と同値である。

数学、理科

全国平均、県平均を下回る。

☆令和3年度結果

	国語	数学
全国	64.6	57.2
青森県	66	56
むつ市	67	57

* 全国平均に対する到達率

	国語	数学	理科
全国	100	100	100
県	100	101.2	99.4
むつ	100	93.4	95.3

◇令和元年度 小学校6年生の結果

	国語	算数
全国	63.8	66.6
青森県	70	67
むつ市	66	63

☆→前年度の小学校6年生及び中学校3年生との異集団比較

◇→前年度の青森県学習状況調査及び小学校6年生時の
全国学力・学習状況調査との同一集団比較

□8 質問紙調査の結果（本市の実態）

※むつ市の児童生徒の「8割」が肯定的な回答をした質問項目

領 域	○…小・中共通 ㊦…小学校 ㊧…中学校
基本的な生活習慣等 質問6問中	○朝食を毎日食べている。 ○毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きている。
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等 質問12問中	㊧自分には、よいところがあると思う。 ○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。 ㊦将来の夢や目標をもっている。 ○自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。 ○人が困っているときは、進んで助けている。 ○いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。 ○人の役に立つ人間になりたいと思う。 ○学校に行くのは楽しいと思う。 ○友達と協力するのは楽しいと思う。
学習習慣、学習環境等 質問8問中	㊦学校からの課題で分からないことがあったときは家族に聞く。 ㊧学校からの課題で分からないことがあったときは自分で調べる。
地域や社会に関わる活動の状況等 質問5問中	㊧放課後や週末に、家で勉強や読書をして過ごしている。
ICTを活用した学習状況 質問6問中	○学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う。
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況 質問7問中	㊦5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。 ○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 ㊦学習した内容について、分かった点やよく分からない点を見直し、次の学習につなげることができている。
総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳 質問4問中	○学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。 ○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 ○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
学習に対する興味関心や授業の理解度等 質問 国4問中 算・数8問中 理9問中	○国語、算数・数学、理科の授業は大切だと思う。 ○国語の授業の内容はよく分かる。 ○国語、算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。 ㊦算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。 ○算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。 ㊦理科の勉強は好きだ。 ㊦理科の授業の内容はよく分かる。 ○理科の授業で、観察や実験の結果を基に、どのようなことが分かったのか考えたり考察したりしている。

□ 9 学力と相関関係があった質問項目

質問紙の回答と学力の相関関係を比較した際に、肯定的な回答をした児童生徒の平均正答率が、そうでない回答をした児童生徒の平均正答率よりも全教科10ポイント以上高かった内容である。

■ 小学校6年生・中学校3年生 共通

- 項目1 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 項目38 前年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
- 項目39 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 項目51 国語の授業の内容はよく分かる。
- 項目53 算数・数学の勉強は好きだ。
- 項目54 算数・数学の勉強は大切だと思う。
- 項目55 算数・数学の授業の内容はよく分かる。
- 項目58 数学の問題の解き方が分からないときはあきらめずにいろいろな方法を考える。
- 項目60 数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。
- 項目68 理科の授業で、観察や実験の結果を基に考察している。

■ 小学校6年生 20ポイント以上 *中学校3年生は該当する質問項目はなし

- 項目2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 項目8 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- 項目10 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- 項目40 前年までに受けた授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
- 項目43 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。
- 項目44 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- 項目46 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- 項目48 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

□ 10 今後、重点的に取り組んでいくこと

- 児童生徒の学習意欲を高め、「知識・技能」と「活用する力」を一体的に伸ばす。
- 各教科等の学習で、筋道立てて考え、自分の考えを分かりやすく説明したり書いたりする力を一層高める。
- 家で学習する習慣を継続させ、学習の仕方や方法などに対して支援していく。
- 目的に応じて、効果的にICT機器を使った授業を展開していく。
- 読解力を高めるための「聞く力」と「読む力」を高める指導に努める。

□ 11 学校教育課としての指導や支援、対策

- 各教科におけるむつ市の児童生徒の傾向を踏まえ、要請訪問等で、知識・技能の習得と活用する力の育成を図る具体的な指導法について指導・助言する。
- 学力向上アクションプランの達成に向けた指導資料をもとに、授業改善について指導・助言する。
- デジタル教材や活用型問題集「ドリームワーク」の活用を一層推進する。
- タブレット端末の効果的な活用について、講座や研修会等で一層推進する。